

宮津市由良における地域づくりデザインの姿勢

私たちは、宮津市由良の、歴史や自然と共生してきた人びとの暮らしのなかから、潜在的な資源・価値を再発見し、都市との交流を通してその価値を学び、伝え、共有するために、「地域の光をデザインする」「エコミュージアムによる地域づくり」という視点から、由良が元気で誇り高い地域になっていただくためのデザイン（調査・解析・創造的提案）活動をおこなっていきます。

地域の光（価値）をデザインするとは

デザインを日本語で「意匠」と言います。「意匠」とは、字の通り「心」の「音」を聞き、「オノ」で「ハコ」をつくと書きます。すなわち、地域の光をデザインするとは、地域に出向いて、人びとの話をよく聞き、地域のすばらしさ・価値を実感し、そのすばらしさ・価値・資源を活用して、「コト」や「モノ」のデザインをすることです。

エコミュージアムデザインとは

- エコミュージアムとは、当該地域のすべてが、「残したい」「伝えたい」「楽しみたい」博物館であり、舞台であるとの考えです。
- 住民の皆さんとともに、地域にはどのような「価値」「光」が潜んでいるのかを探し出し、磨き上げることが大切です。
- さらに、地域の魅力・光を、当該地域から周辺地域へ、人びとのネットワークを通して、活かし広めていくことも必要です。
- それらの魅力・光を「地域の誇り」としてとらえ、暮らしのなかに活かしていくことが肝要です。



